

株式会社A-C L I P研究所

平成25年度 高度研究開発助成

事業テーマ：遺伝子増幅によるインフルエンザウイルスの型別・簡易・迅速診断キット

企業名：株式会社A-C L I P研究所

所在地：千葉県千葉市中央区亥鼻

1-18-15

助成事業の概要

新型インフルエンザの侵入流行時において、流行初期にその型を判定するツールが不可欠であるが、従来の手法ではその判定に専門知識と機器が必要であり、また結果が出るまでに1日から数日程度時間を要する。

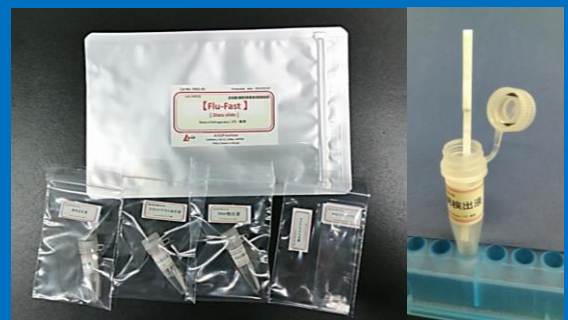
本事業ではウイルスの安定剤及びウイルスを可視化させる方法について研究を進め、高度な技術や機器を用いずに1時間程度で簡便にウイルスの型を確定する測定キットを千葉大学と共同で開発した。

助成事業の成果

本事業での試作品をもとに、東北大学の関連ベンチャー企業と連携する機会を得られ、それによりインフルエンザ遺伝子型別迅速検査キットの製品化の目途を立てることができた。

今後の展望

現在医療機関で広く使われているインフルエンザウイルス検出キットはA型B型ウイルスの感染をオンサイトで短時間で検出するキットが普及しているが、インフルエンザに関しては数年に一度抗原性が異なるウイルスが流行しワクチンによる予防が効かずに大流行を起こすことがある。このような場合、医療現場においてAB型の弁別だけでなく新型ウイルスの感染を判断しなければならない時に迅速に型別を実現できる。



簡便Stripを用いた検出キットのプロトタイプ【Flu-Fast】
左：【Flu-Fast】キット、右：Stripに展開中の様子

助成金活用感想

この補助金を活用することにより、製品開発のスタートアップ資金を得ることができた。